

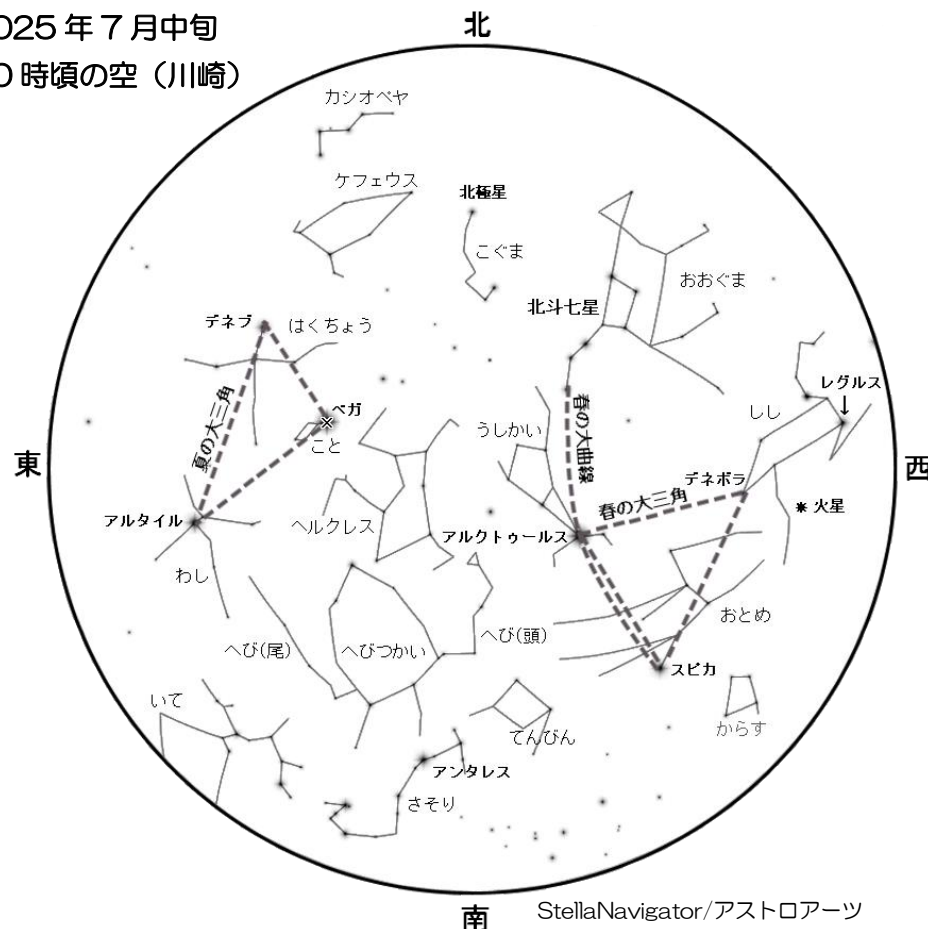
かわさき宙と緑の科学館

# アストロテラス 夜間一般公開

2025年7月5日(土)

\*このリーフレットは科学館天文サポーターの協力により作成しています。

2025年7月中旬  
20時頃の空(川崎)



StellaNavigator/アストロアーツ

## 2025年7月の星空

7月上旬の20時頃の夜空には、夏の星座が輝き始めます。東の空には、こと座の「ベガ」、わし座の「アルタイル」、はくちょう座の「デネブ」で構成される「夏の三角」が見えます。

また、条件が良ければ空の暗い場所では天の川が見えることがあります。天の川は、無数の星が集まってできた光の帯で、東の空を南から北へ横切るように広がっています。暗い場所で観察すると、その美しさをより感じることができます。

さらに、深夜から早朝にかけては、土星(1.0等)、金星(-4.1等)や木星(-1.9等)が東の空に昇り始めます。望遠鏡を使えば、土星の近くに海王星(7.9等)を見ることができるでしょう。

## これからの天体現象

### ●注目現象

- |    |     |  |
|----|-----|--|
| 7月 | 7日  | 七夕   |
|    | 8日  | 月(月齢13.1)がアンタレスと並ぶ                           |
|    | 14日 | 金星がアルデバランと並ぶ                                 |
|    | 16日 | 月(月齢21.0)が土星の北を通過する<br>深夜～翌朝にかけて月と土星が並ぶ      |
|    | 19日 | 土用の入り(8月6日まで)                                |
|    | 21日 | 未明に月(月齢25.3)とプレアデス星団が並ぶ                      |
|    | 22日 | 月(月齢26.3)が金星の北を通過する                          |
|    | 29日 | 月(月齢4.0)が火星の南を通過する                           |
|    | 31日 | 月(月齢6.7)がスピカと並ぶ                              |
| 8月 | 1日  | 月面X(月の欠け際にXの文字が浮かび上がって見える現象)の観測好機(20時～21時ごろ) |

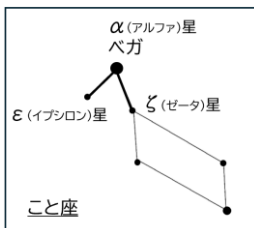
### ●月の満ち欠け

- |    |     |    |
|----|-----|----|
| 7月 | 11日 | 満月 |
|    | 18日 | 下弦 |
|    | 25日 | 新月 |
| 8月 | 1日  | 上弦 |

## 2025 年 7 月の観望天体（予定）

### 【ベガ】

こと座の $\alpha$ 星。夏の星座の中で最も明るい 0 等級の恒星です。ベガの表面温度は 9300 度で純白の美しい色で輝いています。直径は太陽の 2.7 倍、質量は太陽の 2.6 倍、地球からの距離は 25 光年です。ベガという名前は“急降下する鷲”の意味のイブシロン ゼータ アラビア語に由来します。これは近傍の $\epsilon$ 星と $\zeta$ 星とで作る V 字を「獲物を狙って翼をたたんだ鷲の姿」に見立てたものです。日本では七夕伝説の織姫星として知られています。



### 【月】

今日（7 月 5 日 20 時）の月齢は 10.1 です。上弦（半月）よりも少し膨らんだレモンのような形をした月が見えるでしょう。月はてんびん座にあって、地平線からの高度も 30 度ほど。月は満ち欠けをしながら、およそ 27 日で太陽の通り道である黄道に近いところを通って星空を一周します。毎年この時期の上弦から満月の月は、1 年のうちでも南の空最も低いところで輝いていて、地球の大気の影響で赤みがかって見えることが多いです。

## トピック

七夕は、天の川の兩岸に分かれてくらす織姫と彦星が年に一度 7 月 7 日に会うことができるという伝説がもとになっています。

しかし、7 月 7 日のころは梅雨が明けていないことが多く天体観測には不向きです。

国立天文台では、太陰太陽暦（いわゆる旧暦）での 7 月 7 日に近くなるよう、「二十四節気の処暑（しよしよ＝太陽黄経が 150 度になる瞬間）を含む日かそれよりも前で、処暑に最も近い朔（さく＝新月）の瞬間を含む日から数えて 7 日目」を「伝統的七夕」と呼んでいます。

「伝統的七夕」の日は、

- ① 天の川が空の高いところにあり 1 年で最もきれいに見える。
- ② 梅雨は明けていることが多く天候も安定している。
- ③ 月も上弦くらいで西の空に傾いている。

ことから、20 時頃になると、空の高いところに織姫星（ベガ）と彦星（アルタイル）が天の川を挟んで明るく輝く様子を楽しむことができます。ちなみに今年の伝統的七夕は 8 月 29 日ですので、ぜひこの日に夜空を眺めてみてください。

## ぷりんのひとことメモ



みんなは国際宇宙ステーション（ISS）が地球の周りを回っているのを知っているかな？ ちょうど今、大西卓哉さんが船長として長期滞在しているんだ。

タイミングが合えば、夕方や朝方に ISS が飛んでいるのを見ることができるから、インターネットで「きぼうを見よう」と検索して、見える時間を調べてみてね！

次回は

8 月 2 日（土） 月とアルビレオ（二重星）

23 日（土） アルビレオ（二重星）とこと座  $\epsilon$  星（ダブルダブルスター）

を観望予定です。受付時間：19:00～19:20 内にこ来館ください。

先着順で整理券を配布し、番号の順に望遠鏡で観望していただきます。

※雨天・曇天等観望が難しいと予想される場合は中止します。

（開催の有無は、当日 15 時に当館 HP・X・Facebook でお知らせします。）

最新の科学館の情報は  
ホームページ・SNS を  
ご確認ください。

アストロテラス夜間一般公開  
の感想をぜひご記入ください。  
（所要時間 1～2 分程度）

公式ホームページ



X (旧 Twitter)



かわさき  
と緑の科学館  
Kawasaki Municipal Science Museum  
サイエンスブリック